

No. 3115

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸
幹 事 菅原 佳典
広報小委員長 川口健太郎



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和7年5月29日 第3116回

- ・社会・青少年奉仕プロジェクト
「未来へキックオフ」総括：橋爪誠治君
- ・ソング：「我等の生業」

前回の報告（第3115回例会）

開催日 令和7年5月22日(木)

点 鐘 [中村会長]

ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君：木本エレクトいよいよですね。次年度会長の時間楽しみにしています。宜しくお願い致します。
菅原君：いよいよ木本年度の助走が始まります。木本さん、児嶋さん頑張って下さい。
成川(守)君：橋爪正芳君、成川雅史君、令和7年度有田市市政功労表彰！おめでとうございます。
岩橋君：木本会長エレクト、後1ヵ月少しですね。
上野山(捷)君：木本隆昭会長エレクト、次年度よろしくお願い致します。
應地君：木本さんの次年度会長の時間を聞けなくてすみません。学校健診で早退します。
宮井君：木本君いよいよですね。次年度会長の時間宜しくお願い致します。
松村君：木本隆昭会長エレクト、本日よろしくお願い致します。
上野山(栄)君：いよいよ木本さん！本日ははりきって頑張ってください。しっかり聞かせて頂きます。
橋爪(誠)君：木本会長エレクトの時間楽しみにしていました。木本さんワールド全快で頑張ってください。
川口君：次年度会長の時間、木本会長エレクト宜しくお願い致します。来期も楽しみです。
木本君：本日、次年度会長方針を発表します。宜しくお願い致します。
児嶋君：木本隆昭会長エレクト、次年度会長の話、じっくり聞かせて頂きます。よろしくお願い致します。
福田君：木本隆昭会長エレクト、次年度会長の時間よろしくお願い致します。

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」

次回のお知らせ

令和7年6月5日 第3117回

- ・会員リレー卓話
岩橋行伸君・中村吉伸君
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」



嶋田君：会長エレクト木本さん、次年度よろしくお願い致します。

福田君：木本隆昭さん、「次年度会長の時間」楽しみにしています。

酒井君：木本さん、次年度会長頑張って下さい。よろしくお願い致します。

井上君：木本次年度会長、よろしくお願い致します。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 川口副委員長]

本日の出席者20名／27名
(うち出席規定免除者6名／8名)

会長の時間 [中村会長]

今年度もいよいよ次年度会長の時間を迎えることとなりました。木本エレクトにおかれましては次年度に向けて存分に方針を述べていただきたいと思います。また本日は次年度に向けたクラブ協議会も開催されますので、ご参加をお願い致します。



さてこのクラブ協議会ではクラブの活動方針やプログラム、各委員会の事業計画、会員の研修教育などについて協議することになっており、開催には推奨時期が示されています。

まずは地区研修協議会の後、年度前半の早い時期、ガバナー公式訪問の2週間前、年度後半の早い時期など4回程度が示されています。有田ロータリークラブでは以前3～4回ぐらいしていたように思いますが、現状は次年度会長卓話の行われる例会の終了後、ガバナー公式訪問までにガバナー補佐を交えての活動計画発表の2回ぐらいが開催されています。従来のクラブ協議会は会長はじめクラブ役員、理事、各委員長を含む会員全員が参加すること

になっていますが、有田ロータリークラブでは理事と各委員長のみが参加しており、この風習は改善しなければならないと思います。今日すぐというわけではありませんが、特に入会間もない会員には参加を促すように教えられましたので、入会5年未満の会員の方々は時間が許せば参加をお願い致します。

またロータリークラブにはクラブ協議会とは別にクラブフォーラムがあり、以前は定期的に行われていたように思います。ここでは奉仕活動や奉仕理念、クラブの管理運営、委員会活動あるいはその時に起こっている緊急課題について会員の皆さんから幅広く意見を述べていただく機会になります。会長は出来るだけクラブフォーラムを開催することになっていますが、最近は例会数も減少しているため、日程調整が困難となっています。有田ロータリークラブでは年2回IDMを開催しておりますので、IDMがクラブフォーラムの代わりになり得るかもしれません。

幹事報告 [菅原幹事]

1.クラブより

- ・各委員長、SAAは年次報告書の作成をお願いします。

副委員長並びに各担当は委員長を通じて提出をお願いします。提出期限は6月12日です。

【回覧物】

- ・Rotary誌
- ・有田経済クラブ通信

【後方掲示物】

- ・各クラブ例会変更
- ・議事録



ロータリー友誌の紹介

[クラブ広報小委員会 川口委員長]

【横組】

P5 RI会長メッセージ「ロータリーの若き行動人たち」と題して私たちの地区でも開催しています。RYLAプログラムに参加した若者の学びと気づきが掲載されています。私たちのプログラムも与えるではなく、考え体感させ、気づきを掴み取る事業が今後の鍵を握ると感じました。



P7-11 特集、青少年奉仕月間として東京八王子RCの地域を挙げてプログラミングコンテスト事業の生い立ちが掲載されています。当時の子どもたちはスマホを持っていたりPCやタブレットの所有率の低さに危惧した会員がプログラミングコンテスト事業を発足、自分たちの力だけでは出来ない事が多いが近隣高専や企業等、地域を巻き込んで継続事業とした結果法人を設立し、第4回大会では応募者数は倍増となり事業規模も大きくなり、八王子市を日本一のデジタル先進都市への目標が実現する可能性が見て来たとのこと、地域の課題を捉えチャンスに変えた素晴らしい事業報告でした。

P12-16 ガバナーモメントは各記事をお読みください。ガバナーの皆さんの苦労や目標などそれらが終わった

時、成長や感謝を体感する機会は生涯の思い出となる事でしょう。

P18-19 THE PARTNERはRI日本事務局の記事となっています。世界6都市にある事務局の一つが日本事務局です。私たちの活動の基盤を支えています。

P20-21 よねやまだより、インドネシア出身のカレンさんは福井工業大学工学部原子力技術応用工学科に席を置いています。技術だけを学ぶのではなく、奨学生となり日本の社会を知り良さを感じる事が、彼女が将来、世界との懸け橋となる事でしょう。

P24-25 ピックアッププロジェクトでは、大牟田RC70周年記念事業から広がる事業展開が掲載されています。日本最大の干潟を有する大牟田市が進めて来た海洋教育の支援と共にICTを利用した台湾との実践交流の二つを軸に事業展開、子どもたちは海の大切さと台湾との交流でお互い海をテーマとして繋がり、将来が非常に楽しみな事業と感じました。

P34 RI指定記事ではボリオ根絶の道のりは厳しく長いですが今やるべきことをやろうと行動しています。

カルガリー国際大会のPRが掲載されています。

【縦組】

P4-8 スピーチ 第2690地区第8・9グループ合同IM特別講演の様子が掲載されています。講師は(一財)淳風会代表理事理事長・東京大学名誉教授の川上憲人氏の講演で、テーマは企業・組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事かと題し、メンタルヘルスとは何か、またそれによる企業損失はどれぐらいか、そしてその対応が話されています。昨年のRI会長方針にメンタルヘルスを重要な目標にされていた通り、人の命が奪われる事態にまで発展することもあり私たち企業人として、知識と察知力が問われています。しかし経営者自身が陥る事もあります。健全な心と身体は健全な経営に繋がると感じました。

P9-12 この人を訪ねてでは、東京山の手ロータリークラブの安福良直さんの記事で、ロータリーの友のパズルでロータリー(今月はP32の掲載)を提供しています。この方の(株)ニコリは日本で最初にパズル雑誌を出版した会社であります。この方は数独と呼ばれる数字パズルが大好きで、京大理学部を出ているが、数独にほれ込んでニコリへ入社、師匠とも言うべき先代社長から会社を引き継いだ経歴の持ち主です。本文から好きこそものの上手なれとは、このことと感じました。先代もロータリアンであったことから、ロータリーに入会、そこでも先代の人柄にふれ、友人が出来卓話も依頼されることも、経営者として今も学び続けています。

P16-17 友愛の広場で、心に残ったのは「友との別れと退会に思う」の文章です。一緒に一生懸命取組んだ友との別れが多くなっていくさまは悲しさと共に良い人生と感じました。



次期会長のための時間

2025～2026年度

有田ロータリークラブ運営方針



2025～2026年度

会長 木本 隆昭 君

クラブテーマ:「例会に出席しよう みんなに会おう」

私は、2017年7月6日に有田RCに入会しました。成川PGが2回目の会長をされた時であり、入会9年目を迎える事になりました。8年前に成川PGに胸よりエンブレムをつけていただいたときは、会長になる人は特別な人で私には関係のない事だと思っていました。ですが、この度第67代会長を拝命いたしまして、大変緊張しております。会長をするほどの経験も実力も備わってはおりませんが、経験豊富な理事役員の皆様のお力添えをいただき1年間頑張っていきたいと思います。

さて、クラブテーマ「例会に出席しよう みんなに会おう」ですが、私は未だロータリークラブに在籍している会員のレベルであり、ロータリアンと言えるほどロータリーに対し知識も実績もありません。ただ、入会して例会に出席しているうちに有田RC会員の方々に魅力を感じるようになりました。会員それぞれのロータリーに対する方針や考え方、経験、姿勢があり例会に出席している事がとても勉強になります。そして、いろんないい話などが聞け、今の私にとっては例会でみんなに会う事がロータリークラブだと感じています。

RC活動の基本は例会出席にあるといえます。例会出席の重要性として、

ロータリーの活動の中心:

ロータリー活動は、例会から出発し、例会を通じて会員間の連携を深め、奉仕活動を推進します。

親睦と情報交換:

例会は、会員同士が顔を合わせ、親睦を深め、相互に情報交換をする機会です。

奉仕の学習:

例会では、ロータリーの奉仕活動に関する情報や学習機会が提供され、会員の奉仕精神を高めることができます。

また、「ロータリーでの出席は、会員としての義務であり、ロータリーの活動を活性化させるため非常に重要です。」とも書かれています。

2025-26年度RI会長 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長は、会長メッセージで「よいことのために手を取り合おう」と言われました。スピーチの中では特に、会員増強の重要性を述べています。しかし、地域社会においては人口減少が当たり前の世の中となり、現会員数を留める事ですら難しくなっています。私が考えるに、会員数が増えなくても、例会出席者が増えればクラブの活性化につながると考えています。

4年間のコロナ禍を経て、世の中は対面社会の重要性

を再認識しているように思います。例会は多くの会員が出席しているからこそ魅力的であり楽しい時間であると思っています。会員の皆さまにおかれましてはご多忙とは存じますが、是非積極的な出席をこころがけていただければ幸いです。

以上をもちまして、次年度基本方針とさせていただきます。

1. SAA

SAAは有田RCでは会長経験者が担当してきた役員です。例会が楽しく円滑に運営する事や例会時のルールやマナーを適切に設定する事など大変重要な役職です。早めのクールビズへの対応を希望します。

2. クラブ管理運営委員会

クラブ管理運営委員会は、4つの小委員会を含めクラブ運営の要となる委員会です。各部門へのサポートや指導をお願いします。

2-1. 例会運営小委員会

出席、ニコニコ箱、会場設営、ゲストの出迎えなど、大変な内容ですが、幹事・SAA・クラブ管理運営委員長と協力しながら運営して下さい。

2-2. 親睦活動小委員会

例会での受付業務、ゲスト・ビジターの照会、会員及び配偶者の誕生日のお祝い、新春例会や親睦家族旅行の計画などが役割内容ですが、全てはクラブ内の親睦を深める事が目的です。楽しい企画を期待します。

2-3. クラブ広報小委員会

毎例会の内容や各事業を週報として作成して下さい。また、ロータリーの友誌の内容を簡潔にわかりやすく紹介して下さい。

2-4. 情報・研修小委員会

新入会員の方などに、ロータリークラブの基本を教えてあげて下さい。

年2回のIDMの開催もお願いします。

3. 会員増強・維持委員会

会員増強は、本年度RI会長であるマリオ氏の会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」を実現するための重点目標です。現実には会員増強の姿勢が会員減少に歯止めをかけている状態ですが、増強目指して頑張らしましょう。

4. 公共イメージ向上委員会

公共イメージ向上委員会の役割は、ロータリークラブの活動をより地域社会に浸透させ、ロータリーの公共イメージを向上させることで、ロータリークラブの存在意義を高めることです。SNS等を駆使して、有田ロータリークラブの活動を社会に紹介して下さい。

5. 奉仕プロジェクト委員会

ロータリークラブの奉仕活動を計画・実行する委員会です。職業・国際奉仕担当と社会青少年担当の2つのセクションで構成されます。

5-1. 職業・国際奉仕担当

ローテーションデーの企画や、2026年6月13日から17日にかけて開催されるオンツー・台北(世界大会)への参加を促してください。

5-2. 社会青少年担当

有田川クリーン作戦への参加、みかん海道の桜木の手入れは例年通り行います。複数年継続事業とした「未来へキックオフ」も本年度に引き続き開催します。また、他にも何か奉仕事業を企画したいと考えています。

例会風景



6. ロータリー財団・米山記念奨学委員会

6-1. ロータリー財団

ロータリー財団は、ロータリー会員の「寄付」を原資とし、財団プログラムへの参加によって地域及び国際社会に貢献しています。

〈ロータリー財団への寄付目標〉

- ・年次基金寄付 :1人あたり180ドル以上
- ・ポリオ・プラス寄付 :1人あたり 30ドル以上
- ・ポリオプラスソサエティ:1人あたり100ドル以上(上記30ドル含む)

上記寄付へのご協力宜しくお願いします。

6-2. 米山記念奨学委員会

公益社団法人ロータリー米山記念奨学会はロータリー会員の寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対し奨学金を支給するとともに世界との懸け橋を育成します。

〈米山記念奨学会への寄付目標〉

- ・普通寄付 :1人あたり 6,000円
- ・特別寄付 :1人あたり 10,000円

上記寄付へのご協力宜しくお願いします。

例会終了後
クラブ協議会を開催しました



7. 戦略計画委員会

戦略計画委員会は、クラブの将来を見据え、中長期計画を立案・実行する委員会です。次年度から中期3カ年間目標を策定します。

事務局

次年度もご協力をお願いします。

組織上では委員会や担当がありますが、会員の皆様には全ての委員会に関わりをもっていただき、一体感のあるクラブ活動が行われることを期待します。
次年度のクラブテーマ「例会に出席しよう みんなに会おう」は、全ての委員会活動の礎となるはずです。私もしっかり出席しますので、1年間宜しくお願い致します。

閉会・点鐘

〔中村会長〕



日程	6月の例会プログラム
6/5(木)	会員リレー卓話 中村 吉伸 君 岩橋 行伸 君
6/12(木)	後期活動報告
6/19(木)	休会
6/26(木)	最終夜間例会(於:橘家) 会長幹事報告